

- ◆企画名 ビブリオバトル～この本が読みたい！杯～
日 程 2021年10月26日(火)
場 所 Zoom
参加者数 13名(ピア・サポータ4名、研修生：5名、一般学生：4名)
目 的

この交流会の目的は、学年・学部を問わず「読書」という共通の趣味を通し、参加者同士がコミュニケーションをとることで、参加者の視野を広げ、未知の本との出会いの場とすることである。また、ビブリオバトルの競技性を活用して、参加者に積極的な参加を促すことを期待する。

内 容

- ・自己紹介
- ・ビブリオバトル 本選
- ・投票 決選投票
- ・優勝者 への インタビュー
- ・アンケート記入

効 果

- ・今回の目的の一つである「参加者の視野を広げ、未知の本との出会いの場とすること」という観点について、アンケート結果から100の参加者が「新しいジャンルに挑戦してみようと思った」と回答していることから、主な目的は達成したと考える。
- ・企画の実施時間について、半数の参加者が「長かった」「少し長かった」と回答している。今回は1時間30分を企画に充て、10分程度前倒して終了したため、従来の企画と比較しても企画自体の実施時間は長くはないはずだが、他の参加者が演説している間は他の参加者は聞き手に徹する必要があるため、実際よりも冗長に感じられたと考えられる。
- ・企画の総合満足度は、93.7%であり、企画としては概ね成功だった。

改 善 点

- ビブリオバトル特有の「聞き手に回る時間」が長いという点については次回開催する際には考慮する必要がある。今回は1人5分登壇というビブリオバトルの公式ルールに則り、1コマ(1時間30分)で賄える人数として6名を参加上限として開催したが、例えば予選を設け3人1グループにするなどして聞き手である時間を少し減らすことを検討したい。
- ・参加者の集まりとしては、多すぎず少なすぎずだった。しかし安定した企画としてビブリオバトルを今後も開催するためにはリピーターを増やす方法を考えるべきだと感じた。

感 想

今回は今まで開催していた「読書交流会」の応用としてビブリオバトルを開催した。企画発足当初は対面での開催を考えていたため、オンライン開催になったことは残念だが、その分司会や企画進行のためのメンバー育成にリソースを回せたのは良かった。次回以降対面企画となると思うので、より参加者数を良くしていくための方策を考えていきたい。